

市町村名	西原町						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設部 都市整備課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)		
事業内容	観光振興及びパークアンドライドの推進を図るため、沖縄都市モノレール新駅周辺の土地利用及び沖縄自動車道との結節等について調査を実施する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	(a)当初予算額	12,390	0				
	(b)予算現額	10,500	0				
	(c)増減額(b-a)	1,890	0				
	(d)繰越額	-	10,500				
	A.計(b+d)	10,500	10,500				
	B.執行済額	0	10,500				
	うち交付金充当額	0	8,400				
	次年度繰越額	10,500	0				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%				
予算の状況の説明	・入札したことによる予算減額(1,890千円) ・沖縄都市モノレール延伸事業の第4駅と沖縄自動車道を結節する幸地インターチェンジの計画が遅れたことから平成25年度へ繰越をおこなった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査の実施	目標	(35 ha)	()	()	()	
		実績	35 ha				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	地権者アンケート調査で第4駅及び幸地インターチェンジ計画があることから、周辺のインフラ整備について関心が高いことが分かった。また、面整備(土地区画整理事業(組合))に向けての基本構想の方針、実現方策の検討、概略資金計画調査を行った結果、実現可能と判断した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査の実施	目標	()	(35 ha)	()	()	()
		実績		35 ha			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	地権者アンケート調査で第4駅及び幸地インターチェンジ計画があることから、周辺のインフラ整備について関心が高いことが分かった。また、面整備(土地区画整理事業(組合))に向けての基本構想の方針、実現方策の検討、概略資金計画調査を行った結果、実現可能と判断した。今後は、地権者に対して説明会や意見交換会を行う予定である。						

市町村名	西原町
------	-----

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 災害に強い観光まちづくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	総務部 総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)

事業内容
台風等の災害時に観光客等に必要情報を迅速かつ確実に伝達するため防災行政無線システムを整備し、併せて海拔表示板設置及び防災マップの作成等を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	275,498	0		
(b)予算現額	271,152	0				
(c)増減額(b-a)	4,346	0				
(d)繰越額	-	176,907				
A.計(b+d)	271,152	176,907				
B.執行済額	94,245	176,907				
うち交付金充当額	75,396	141,525				
次年度繰越額	176,907	0				
執行率(%) (B/A)	34.8%	100.0%				
予算の状況の説明	防災行政無線の発注が、全国的に増加し、製造業者の納品時期が遅れたため。また、総務省から内示を受けた周波数に誤りがあり、機材の変更に不測の日数を要したため繰越となった。 海拔表示板設置と防災マップはH24年度に実施したが、県へのH24実績報告の手続きに手違いがあり、一括交付金で認められなかったため、減額となった。					

活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・屋外拡声子局の整備：76箇所	目標	(76)	()	()	()
	実績	77			
・海拔表示板の設置：158箇所	目標	(158)	()	()	()
	実績	158			
・防災マップの作成：1000部	目標	(1000)	()	()	()
	実績	1000			
達成状況説明	平成25年7月9日より運用開始。地域や公共施設への防災情報の提供が放送できるようになった。				

成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
			・屋外拡声子局の整備：76箇所	目標	()	(76)
	実績		77			
・海拔表示板の設置：158箇所	目標	()	(158)			
	実績		158			
・防災マップの作成：1000部	目標	()	(1000)	()	()	()
	実績		1000			
進捗状況説明	各自治会に操作説明会を実施したことで、行政主導で放送するだけでなく、非常災害時には地域独自にでも迅速に放送できるようになった。					

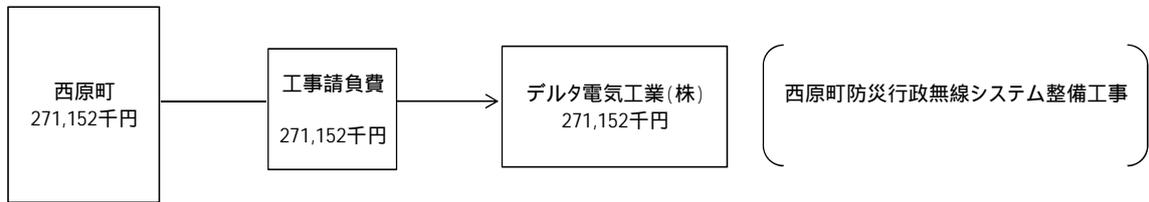
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 地域への防災行政無線子局の設置により防災意識の高揚に努めることができたが、防災行政無線の放送時間や音声が届きにくい等の課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> 運用に関して地域の声を拾い上げ、音声が届きにくい等の問題を解消するために、短い文章で分かりやすい発音にて広報につとめる。 防災訓練を定期的を実施し、防災意識の高揚を更に図る

今後の取り組み方針

定期的な防災訓練の実施し、自然災害時(台風や大雨等)の事前広報は住民に分かりやすい発音や短い文章で広報を行い、避難や災害対策の取り組む。また、地域独自でも防災行政無線子局の活用(地域独自の防災訓練)した取り組みを促していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
271,152	271,152	216,921	54,231	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 事業者は指名入札方式(プロポーザル)より企業組織、実績、知識等を勘案した上で適正に選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		西原町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 沖縄らしい風景づくり推進事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
	担当部課名	建設部 都市整備課		事業実施(予定)年度	平成24~25年度	沖繩振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり -1-(1)
事業内容		本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,540	0			
		(b)予算現額	3,234	0			
		(c)増減額(b-a)	1,306	0			
		(d)繰越額	-	3,234			
		A.計(b+d)	3,234	3,234			
	B.執行済額		0	3,234			
	うち交付金充当額		0	2,587			
	次年度繰越額		3,234	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・町民参加の機会としてワークショップ及びまち歩きを実施することとし、それらの構成メンバーとして自治会長5人・各種団体5人・学生5人・公募町民10人・職員5人の30人程度予定していたが、公募町民10人の公募に申込みがなかったため、構成メンバーの再入選に不測の日数を要したため履行期間を延長が必要となり、次年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・景観計画の策定	目標	(景観計画の策定)	()	()	()	
		実績	景観計画(試案)の策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町民アンケート調査(1,000世帯)、地域住民等ワークショップ・景観まち歩き(4回)、古集落に該当する自治会等のヒアリング(7箇所)を実施した。 目標である景観計画については、事業期間中に庁内のコンセンサスや住民理解を得る機会を設けることが困難なため、景観計画(素案)ではなく景観計画(試案)として作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	・景観計画の策定	目標	(景観計画の策定)	(景観計画の策定)	()	()	()
		実績		景観計画(試案)の策定			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	本事業で得られた景観計画(試案)を基本として、次年度以降に庁内策定会議や町民会議等を経て、追加・修正作業を行い、景観計画(素案)をまとめていく予定である。景観計画(素案)を都市計画審議会等に諮り、景観計画を策定する。					

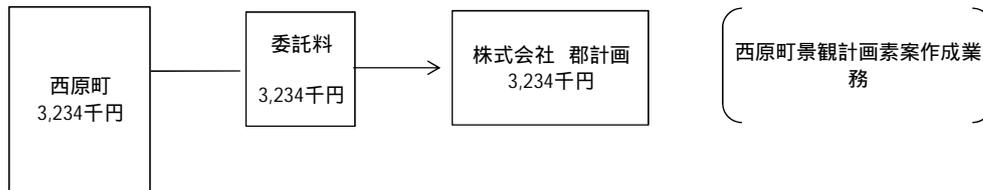
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回収率の低さやワークショップへの参加応募者が現れなかったことから、景観への関心が低いことがうかがえる。 平成23年度景観計画基礎調査の不足分を補うためのアンケート調査やワークショップ、自治会ヒアリングを実施したため、景観計画(素案)策定に必要な策定会議等を開催できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定と並行して景観への関心を高める取組が必要である。 会議等を円滑に進めるため、課内及び委託業者との綿密な事前調整が必要である。

今後の取り組み方針

平成25年度事業においては、会議等の開催が中心となるため、円滑な進行ができるよう、事前調整を十分に行い、スケジュール管理に留意して進める。また、自治会長に景観計画の説明を行ない、地域の景観に関心を高めるように取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,234	3,234	2,587	647	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、県内で景観計画に関する実績のある企業5社に対し指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途は事業目的達成の観点から、必要なものに限定して、設定しているため、適正である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		西原町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - スポーツ環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	建設部 都市整備課		事業実施(予定)年度	平成24~25年度	世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)		
事業内容	西原町陸上競技場は、芝管理の評価が高く、毎年プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め観光資源としても活用するため、スプリンクラーや芝面の排水設備、全天候ウレタン舗装の整備を行い、施設の機能強化を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	401,100	0			
		(b)予算現額	401,100	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	394,118			
		A.計(b+d)	401,100	394,118			
	B.執行済額		6,982	216,717			
	うち交付金充当額		5,586	173,373			
	次年度繰越額		394,118	0			
	執行率(%) (B/A)		1.7%	55.0%			
予算の状況の説明		当初全体的に大幅な施設整備を検討し事業費の算出を行いました。利用者や体育協会など関係団体との調整等により、管理面・利用面を考慮の上、全体的に見直した結果、必要な施設を最小限に留め、最大限利用できる施設とする方向となったため、工事額が大幅な減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	陸上競技場内芝面の排水設備整備及び走路のウレタン整備	目標	(設計・工事)	()	()	()	
		実績	設計・工事				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成24年度中に設計業務を委託を行い、平成25年度に芝生面の排水整備及び全天候ウレタン舗装整備した。芝生面の排水整備、全天候ウレタン舗装整備により雨天後にも利用が可能となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	陸上競技場内芝面の排水設備整備及び走路のウレタン整備	目標	()	(設計・工事)	()	()	()
		実績		設計・工事			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度中に設計業務を委託を行い、平成25年度に芝生面の排水整備及び全天候ウレタン舗装を発注し、平成26年2月に工事を完了した。平成25年度事業では、施設の環境整備を整えるため、芝刈機等の備品購入、これらを保管する倉庫整備、競技用備品及びトレーニング器具の整備を図り、平成26年度にプロサッカーや陸上競技等の試合・合宿等の誘致を図る。					

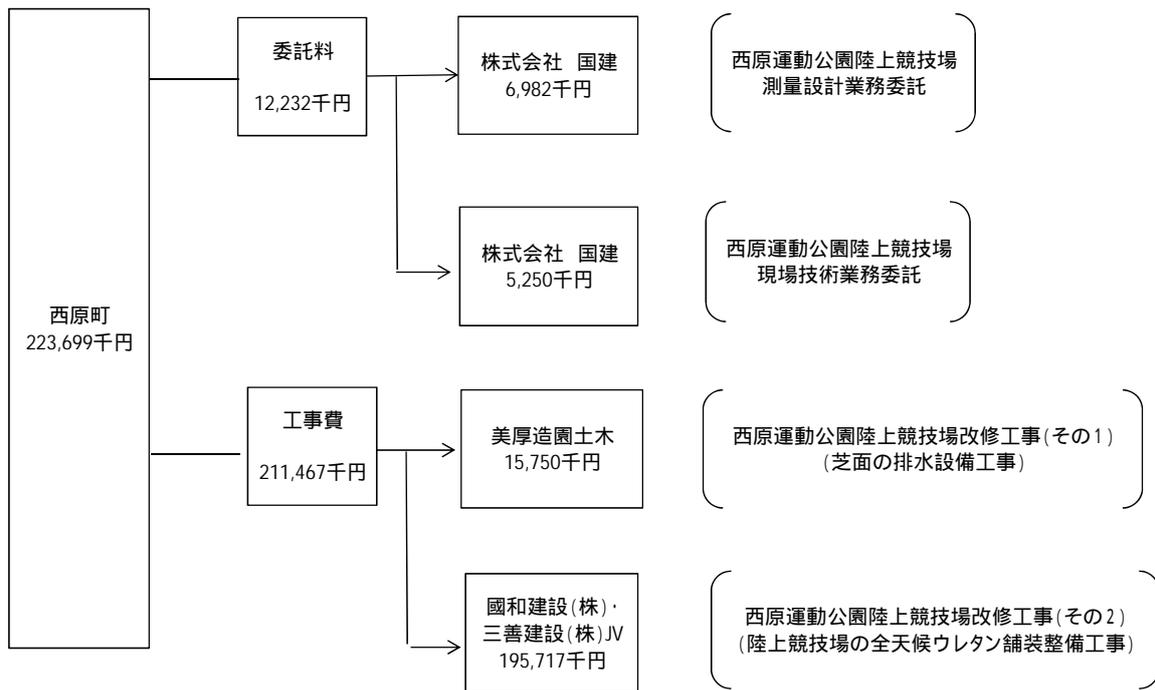
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	競技者に良好なコンディションで利用できるように陸上競技場の全天候型ウレタン舗装の管理、広大な芝生面の生育状態を管理するのが課題である。	芝管理の課題に向けて、芝管理用の芝刈機等の導入により管理運営の向上を図り、利用しやすい施設の環境整備を整える。

今後の取り組み方針

平成25年度は、芝管理用の芝刈機等の備品購入、これらを保管する倉庫整備、競技用備品及びトレーニング器具の整備を図り、トップアスリート等の合宿や試合等の誘致を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
223,699	223,699	178,959	44,740	0



資金の流 れ、点 検、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○設計委託・工事は、指名競争入札方式で、企業の実績・知識等を助案した上で選定しており、妥当であると考えております。 ○費目・用途については、設計段階で事業目的達成の観点から設計及び積算基準を考慮した上で、発注している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	